

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を



第2780第8G平塚北ロータリークラブ週報



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：山田 裕

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

会長エレクト：中村 豊 副会長：中村 豊

例会場：レストラン大原

幹事：神保 由樹 会場監督：刈谷 政夫

事務所：平塚市立野町17-2

姉妹クラブ：台湾桃園ロータリークラブ

連絡先：Tel.0463-30-6336 Fax.0463-30-6616

E-mail:desk@hiratsukakita-rc.jp

(週報 第2638回)

(2025年 11月 18日)

例会報告

合唱：「我等の生業」

司会：幹事 神保由樹さん

ゲスト：

誕生祝い： 11/19 東山 貴史さん。

第2638回 例会

2025年11月18日

会長報告

平塚北ロータリークラブ

会長 山田 裕

皆さま、本日も例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

先日11月9日に次年度2026-2027年度の青少年交換プログラムの当地区からの派遣候補生の選考試験に、前年の委員としてお手伝いに行ってまいりました。応募申請者は9名と、昨年は確か15名でしたのでかなり少なかったようです。ご存知のようにロータリーの留学は語学留学ではありません。文化交流を主たる目的にしたプログラムです。ですから応募の生徒はそれを認識し、日本文化を伝え、相手国文化を学んでくることを目的に論文を書き、そしてガバナーやガバナーエレクトを前に面接試験を受けます。もちろんコミュニケーションを取る手段として英語試験も外せません。留学を希望されたすべての学生や親御さんがしっかりととした目的と覚悟をもっていたのが印象的で、個人的には皆を行かしてあげたい気持ちでした。

最近、中国との関係が騒がれていますが、中国からの留学生にも影響がでそうな状況です。県内でも中国との交換留学を積極的に行っている学校もあると聞いています。当地区では中国との交換留学はありませんが、こういう事態になってしまふと国と国とのトップのやりとりが未来を担う若者の育成にも影響してしまうこと

に悲劇を感じざるを得ません。ロータリーのプログラムには財団奨学生を始め平和フェローなど、国と国の橋渡しをする青少年交換に比べれば希少ですが、平和を担う貴重な人材を育成するプログラムがあることを尚更に有意義であると実感するとともに、私たちの財団寄付がそれを支えていることに使命感と、またさやかな誇りを感じることができます。

さて、前回の例会にて「きらり祭」と「収穫祭」でのご報告をさせていただきました。どちらも当クラブが地域に根付く活動として、大変貴重な実績が得られたと思います。社会にハンディを持った子どもや、地域の人々に喜んでもらえる、少しばかり幸せな時間を持つ機会を作ることが出来たと実感しております。

仲間同士の助け合いから始まって、つまりクラブ奉仕を基盤に、職業、社会、国際、そして青少年奉仕と、120年に渡りその思想を変えずに、個人から地域、そして世界へと対応力を広げていくロータリアンは凄いとつくづく実感いたします。ロータリアンとしての喜びとは、その使命を達成し仲間と分かち合うときと思っています。

話は変わりますが、先週末に空海が開いた密教の聖地である高野山に行ってまいりました。空海は私の尊敬する人ですが、入定後の醍醐天皇から「弘法大師」という諡号（しごう）が授けられます。入定とは単なる死ではなく、即身成仏といってこの世に体のあるうちに仏になることを意味します。密教では「三密」の修行をします。「身=体の行動」、「口=言葉」、「意=心」の三つです。空海は18歳で大学に入学します。といっても今から1230年以上前の話です。彼にとって大学はいわゆる出世の為の勉強で求めるものとは違っていました。困っている人を助けたい、それには仏教の教えが重要と大学を中退し修行の旅に出ます。高知県の室戸岬にある洞窟から修行を終えて出た時に見えた空と海に心を打たれて「空海」と名乗ったとされています。それから遣唐使として唐にわたり、密教に必要なサンスクリット語（梵語）を学び半年後には国師の弟子になりその3か月後には「真言密教の師」と認められるほどでした。

彼の凄いのは布教だけでなく、地域開発や文化活動にも力を入れていたことです。香川県の灌漑対策ではアーチ形の堤防を作り、その堤防は1200年経った今でも使われています。また書物もたくさん残されており、現存する最古の漢字辞書も作ったとされており、「弘法筆を選ばず」と言われるように日本の三筆の一人です。またそれまで身分により厳格であった大学への入学も、今でいう私立大学を設立し、教育を受ける機会が誰しも平等になることを実現しました。

そのような三密の修行をした常に平常心で冷静な空海でさえ、感情を抑えられないことがありました。弟子の智泉を亡くした時です。入定の4年前です。このとき「哀しい哉 哀しい哉 哀れが中の哀れなり 哀しい哉 悲しい哉 悲しみが中の悲しみなり 哀しい哉 哀しい哉 また哀しいかな 悲しい哉 悲しい哉 重ねて悲しい哉」と嘆きます。生をもってこの世に生まれる事は誰もが避けられない4つの苦しみを持つということを悟り、それでも一生懸命生きるということを教わる句もあります。私が「空海」を尊敬するのはこうした人らしさを備えた偉人だからです。

人は誰もが苦しみを背負って生きていることを実感いたします。ロータリーにも2022年の手続き要領にはDEIという理念がありました。私も昨年青少年交換留学生でデンマークという国に係わりを持ち、ノーマライゼーションという思想を学びました。ハンディがある人に手を差し伸べる人が手を差し伸べるそれが自然と

なる社会が作れることが必要だと感じています。ロータリーとはそうした手を差し伸べることが出来るひとを育む組織だと信じております。

最後になりますが、来週(11月25日)は三荒AG訪問の例会になります。「結ぶ」をテーマに第8グループ各クラブの話を聞きに来られます。暖かく迎えていただきたいと思います。またその2週後には松下ガバナー公式訪問になります。当クラブの質問を予め用意しておきます。どうぞご協力ください。ガバナー訪問ですが次年度ガバナーの中込ガバナーエレクトもお越しになる予定です。当クラブにおいても次年度に繋がる良い機会でもあります。12月9日の例会には是非、ご出席いただきますよう、また例会後の協議会にもご参加いただけますようにお願いをいたします。

(本日)11月18日 (火)

出席免除会員 4名在席

会員数	出席対象者	出席数	出席率	メーカアップ	修正出席率
26	22	12 (3)	60%	名	%



健康卓話=中村 豊 会長エレクト

幹 事 報 告

スマイルBOX

◎山田 裕さん=先日、高野山に行きました。そもそも真言宗の檀家であり、弘法大師は憧れの存在でしたから、いつかはと思っていた夢がかなったわけです。天候はよく、紅葉とあって最高のはずでしたが、体調不調で妻に助けてもらいながら奥の院まで行つきました。妻のありがたみを知れと弘法大師の教えを感じたものでした。ありがたし、ありがたし

◎櫻田 敬さん=中村先生卓話よろしくお願ひいたします。台湾色々手配、平山さんありがとうございました。大変助かりました。

◎林 啓之さん=晴天が続いて、原っぱでは遠足の子供達が楽しそうにかけっこをしています。秋ですね。

◎真壁佐一さん・根岸君代さん・中川博昭さん・村上 亘さん

=本日、中村豊デーです。健康卓話とロータリーの友、そして諮問委員会と頑張って下さい。

◎米澤松文さん=久しぶりのはるちゃん、スマイルありがとうございました。

◎八日市屋敏雄さん=今日は中村先生の健康卓話を楽しみにしておりました。足、腰が痛くなってきて卓話を思い出しながら生活をして参りたいと思います。

◎平山英代さん=本日中村先生の久々の卓話楽しみです。明日より寒くなるそうです。インフルエンザに気をつけましょう。うがい手洗い欠かさずに。

◎中村 豊さん=今年度の初めての健康卓話になります。腰痛の話をさせて頂きます。

11月18日スマイル合計額は、12,000円でした。